



International Council of Nurses
The global voice of nursing

ICN コミュニケ

国際看護師協会の統治機関である会員協会代表者会議（CNR）は、6月29日から7月1日にかけてカナダのモントリオールで会合を開いた。協議における主なメッセージは以下の通りである：

- 各国政府は、UHC2030 アクションプランに従い、強力で、対応力があり、レジリエントなシステムを構築し、世界の看護・保健医療労働力を支え、成長させ、保護しなければならない。
- 保健医療人材の国際採用に関する「国際保健機関（WHO）世界実施規範（WHO Global Code of Practice）」を強化し、「派遣元」と「派遣先」の両国に公平で有意義な利益を確保する。最も脆弱な国々からの採用の一時停止を遵守する。
- 保健医療機関や政府は、看護供給量の増加に精力的に取り組むべきであり、コスト削減策として、あるいは看護師不足の解決策として、看護師をスキルの低い補助従事者で代替することに依存してはならない。このような措置は、患者の安全性に対して容認できない深刻な影響を及ぼすものであり、直ちに中止すべきである。
- 慢性的な人手不足に対処するため、追加の正看護師の教育や専門職開発・保護など、すべての国が保健医療への投資を増やすべきである。このような対応により、看護は見えのないものからかけがいのないものになるだろう。
- 移民・難民やその他の脆弱な人々の保健医療ニーズに対処し、権利と安全を尊重するための緊急行動が必要である。
- 将来のパンデミックへの備えを確実にするために、看護師を計画や政策立案に参画させる必要がある。学んだ教訓を行動に移さなければならない。
- 看護師を、持続可能な保健医療システムを構築するリーダーおよびゲームチェンジャーとして認識することが不可欠である。すべての国が、主任看護官を任命し、より多くの看護師を主要な指導的地位に就けなければならない。
- 紛争地や災害地における看護師の権利を尊重する。国際社会は、保健医療従事者に対する人権侵害をこれ以上見過ごすことはできない。
- 世界の看護労働力に関する正確なデータを収集し、第2回「世界の看護（The State of the world's nursing 2020）」報告書を作成することで、看護師の世界的な分布を確認し、さらに何人の看護師が必要かを明らかにし、世界の保健医療ニーズに応えるための行動をとる。
- 看護専門職の将来のリーダーである看護学生やキャリア初期の看護師を積極的に参画させる。
- 適切なスキルミックスを実現し、国際労働機関（ILO）看護職員条約第149号の看護の定義をICNの定義に沿うよう更新する。
- ジェンダー公平を提唱し、職場内暴力から看護師を守る。

ICN • CIE • CII

3, Place Jean Marteau, 1201 Geneva - Switzerland - Tel : +41 22 908 01 00

Fax : +41 22 908 01 01 - e-mail : icn@icn.ch - web : www.icn.ch